

3月号

いっしん

平成27年(2015年)

第362号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

ふたたびを
同じ過ち
すなよゆめ
神のみまえに
詫び申しては
甘木親教会
初代親先生み致

甘木親教会 二代教会長 安武文雄大人 20年祭	12月23日(祝)
加治木教会 矢野サダ子真心白萩大刀自 3年祭	7月12日(日)



加治木教会 報徳祭 仕えられる

二月の初旬から梅の花が咲き出し、中旬を過ぎたころに満開を迎え、まだまだ咲き続ける、二月二十二日(日)加治木教会において、報徳祭ならびに前教会長 矢野政美大人例年祭が仕えられました。

前日から、御用奉仕者一同で準備の御用に当らせていただき、お直会や、お広前の小旗、下足箱、ご神前に供えられる活け花、先生方のお部屋での接待の準備等々が手際よく進められました。

二月中旬から寒さの厳しい日が続いていましたが、報徳祭前日は曇りがちで、当日は朝の内お湿りとなりましたが気温は上がり暖かく、過ごしやすい二日間となりました。

報徳祭ならびに矢野政美大人例年祭後、人吉教会長 安武光太郎先生、多良木教会長 梅木博光先生のお二人よりご教話があり、その後、加治木教会長 矢野章先生によりご挨拶がありました。
(4~5ページ以下へ)

甘木親教会

報徳祭

ならびに

初代、二代教会長例年祭
仕えられる



初代、二代教会長例年祭の
ご祭典 (甘木親教会お広前より)

二月十七日(火)甘木親教会では、報徳祭ならびに初代・二代教会長例年祭が仕えられました。

報徳祭は、安武道義親先生ご祭主のもっと麗しく仕えられ、例年祭は、安武勝博先生(肥前基山教会長)がご祭主

を仕えられ、ご祭典後の偲びの講話は、安武勝博先生でした。

偲びの講話は、祖父に当たられる初代親先生には孫として、従弟に当たられる二代親先生には修行生として接してこられた中で、貴重なご経験を交えて、今日まで感じて来られた尊いご信心のご内容についてお話し下さいました。

……〇……〇……〇……〇……

安武勝博先生 偲びの講話

(要旨)

初代の信心の根幹は
「お詫び」だったのでは

昭和二十五年の大祓(現 越年祭)に具合が快復されず、時刻が迫ってお広前に出ることができない中に、「ようやく」お詫びにお詫びをしとおしてこまできた」とお出でになられた。

明治二十四年初めて小倉に参拝し、天地の大恩のみ教えを聴かれ、その帰

り道、お詫びにお詫びを重ねて、心臓病と脳病をおかけいただいたてある。

甘木の地にご布教になられ、ごヒシイが立ってきた後、家族の上には次々と不幸が起ってくるのですが、初代の信心は全然ゆらいでないと見える、思えるのです。

それは、親神様は天地の親神様であらせられるがゆえに「氏子のためにならないこと」はけっしてなさらない」という信念です。

ですから、自分のユニオンでそういうことが起ってくるという事は、自分の信心が至らないがゆえに、前々のめくりというものがあがるがゆえに、こういうことが起きている。

早くから、自分をご神縁を頂いて、信心をさせていただいていたら、神様にもなさりようがあったのではないか。

むしろ、神様にご心配をおかけしている。

神様は「助けてやりたい」という思召しである。「氏子に徳がなければ、

難の消しようがない」と仰せられて(み教えをわけて)いるのだから。



肥前基山教会長
(佐賀県)
安武勝博先生

むしろ、親神様「」心痛をおかけして、相済まないというお心持である。自分だけがお詫び申しようというのではない。神様に対して相済まないという思いです。

ある夜、遅くまでお部屋で電氣をつけておられたとき、お部屋を訪ねてきた修行生に「皆が、おかげを受けてお

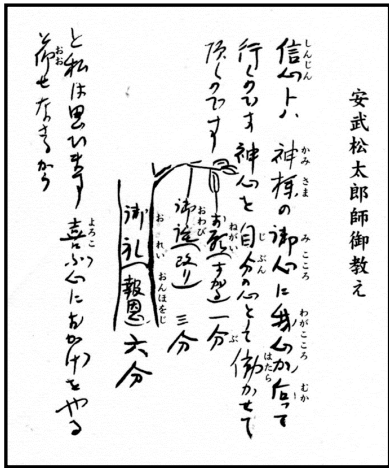
りながら、信心になってくれないことを、神様にお詫び申し上げておる」と仰せられてある。
どうも、初代の信心の根幹は「お詫び」だったのでないかという気がするのです。だから「お願い」が小さい、

「お礼」「お詫び」「お願い」の木の絵(左の図)でも、先の小さな葉っぱは「すがる」と書いてある。神様の「慈悲に「すがる」ということ...。とても、願っておかげを頂くなど「願う」「すがりできない」ということでありましよう。

二代の親先生は、お礼の信心であったと思います。よく「知らない、わからないのは仕方ない」と教えておられました。日田の堀尾保治先生は「信心は目覚めておるか目覚めてないかのちがい」と教えておりました。

私が一オニケ月の頃大病をして、父は戦地で母は二十四・五才、初代はわざわざ本郷まで来て、袴を取って看病

されて、そのおかげで命を助かったのです。「そのおかげであんたは今日あるのぞ」と母は書き残していたからわかった



のです。

知らない、目覚めていない、ではわかりません。私もは、自分にかかられている祈りや、受けてきたおかげを知らない。

「信心は過去のこと」と、「お礼」も「お詫び」も過去のこと、「信心は過去の清算」と、清算は過去のこと。

私は六十八才で孫ができ、そのかわいさは違います。初代も孫が可愛かったのだからなと思います。「孫を持つて知る親の恩」とも言えるのではないかと思います。

「子のために悩める親の心にもまされる神の恵みかしこ」(初代安武松太郎師み歌)とのみ歌のように。

吉田松陰の辞世の句「親思う心に勝る親心今日の訪れ何と聞くらむ」親の思いは、子の思い以上。神様のみ心はそれどころではない。

(おわり)

加治木教会 報徳祭 ご教話

安武光太郎先生は、

今日、「」祭典中に子どもたちが二階で走っている音が太鼓のようにドンドンと聞こえてきました。すると祭詞の「加治木でならぬ太鼓はどこにいても鳴らぬ」という言葉が聞こえてきて「加治木教会では太鼓が鳴っている、これがご被礼かな」と思わせていただきました。

今日の報徳祭は、金光登勢一子大神様（教祖様の奥様）、金光四神様、はじめお道の布教の御用をしてこられました、霊様方にお礼を申すお祭りですが、お世話になっておるといことがわからねばお礼の申しようがありません。

甘木親教会の初代教会長の安武松太郎先生が、小倉教会に初めてお参りしたのは明治二十四年二月の二十日です。私からは曾々祖父に当たります。

その日には、百二十四年経った今でも甘木教会の親先生方は小倉教会に御礼のお参りをされます。



甘木親教会初代教会長 安武光太郎先生

その入信のお話はご存知の方もあると思いますが、初参拝でのみ教話は「天地のご恩」特に「地の恩」ということについて聞かされ、そのときの驚きは「足元から鳥が立つ思いがした」ということを伝えられています。

そのとき、天地のお恵みが「ありがたい」ということが心の中に呑み込めたのだと思います。

「ありがたい」と思えなければお礼はできません。お世話になっておることがわからねばお礼の申しようがありません。

甘木の初代は「信心は恩を知るに始まるのであります」と教えてあります。自分は何と無力であるかということを知ってお礼を申していくことができるようになりたいと思います。

甘木の初代は「真からのお礼と真からのお詫び

が大切」と教えておられます。（お話の要旨のみ）と、お話をされました。

○



梅木博光先生は、

私たちの心臓は当り前のように長年、体を支えています。心臓の調子が悪い時などその有難さがわかりますが、常日頃そのことを忘れがちです。私は、このところ無呼吸症候群で、睡眠中に口や鼻に機械を取り付けて呼吸のデータを調べることになりました。

呼吸が止まっていけないと気があり、そ

の間は酸素が十分に身体全体に運ばれないので、命にかかわるほど不健康になり、どのような障害がいつ出てもよい状態というところで、減量に取り組みむことを申し渡されてくるというので

東京の聖路加国際病院長をされた日野原重明（ひのはらしげあき）という方のお話で「命はどこにあるでしょうか」と小学生に質問されたそうです。また「大人の心臓は一分間に六十〜八十回脈打ち、九十六歳の今日まで私は約三十億回です。心臓は、車でいえばエンジンやモーターの働きをして各臓器が関連し助け合って生きています」と話してあります。

その日野原先生は「命は時間」と言われ「心臓は大切ですが命そのものではない、命を動かすためのモーターで心臓が止まると人間は死ぬ、時間の使い方次第、時間をどのように使うかが生きるといふことであり、命である」といふことなのです。

ですから、信心をさせていただく私

ちは、その時間をどのように使うかが大切です。

お役に立たせていただく、人の助かりのために、ということでありたいものです。自分のために使うか、ご恩を受けている神様のために使うかが問題なのです。それが命を大切にすることです。

先覚の先生方のおかげで、今私たちはおかげを頂いてきているのです。今年九州布教二二〇年、小倉布教一三〇年のお年柄で、その一三〇年の時間の中で私たちはおかげを蒙らせていただけてきたのですから、そのご



多良木会長
梅木博光先生

恩に報いる生き方をさせていただくことが大切です。

英六輔さんという方は、今パーキンソン氏病になられてもテレビに出演してよいお話をされます。「生きてきたというものは借りを作ってきたこと、生きていくというものはその借りを返していくこと」とお話されておりました。

それは「世話になるすべてに礼をいふこと」ということでもあります。報徳祭は、ご恩に報いるお祭りですから、ご恩に報いる信心の稽古を進めていきますよう。（お話の要旨のみ）と、お話をされました。

ご教話のCDはお広前に貸し出してあります。くりかえし聴かせていただき信心の向上をはからせていただきますよう。



報徳祭前日、お直会準備の御用

矢野政美大人遺稿

(昭和四十七年三月)

霊様とご先祖



今日の社会は、めざましいまでの科学技術の進歩によりまして、大変便利な生活をさせていただいております反面、公言とか交通戦争というように昔とちがって非常に住みにくい状態になっていくということがいえると思います。

しかし、天地のみ働きは変わりなく三月の声を聞きますと「いよいよ春だなあ」と何となく心のみ明るい気持ちになってまいります。

さて、この三月で一番精神的に大切な行事は、春分の日に仕えさせていただきます、私どものご先祖祭り、すな

わち、春季霊祭であると思われまふ。霊祭と申しますことは、簡単にいえば、「きこ先祖と子孫の私どもがひとつになり、心と心が通い合う行事と思わせていただきます。

霊祭の中心には、「ご先祖の徳を称(ただ)え、その面影を偲ぶということがあります、それだけでは足りないと思ひます。

み教えにも「親のことは子が頼め、子のことは親が頼め、あいよかけよで頼み合ひいたせ、天地(あめつち)のごとし」と、あります。

霊様方は、霊ながらに子孫のことを願ひ、子孫の立ち行くことを祈って下さってあることは間違いないのですから、私ども子孫に致しましては、朝夕にご先祖の霊の安心をお願い申し、助かっていただくことを願わさせていただきますことは当然です。

そのためには、私どもと致しましては、本気で信心を求めさせていただきます大きなおかけを蒙って、「ご先祖の名を挙げさせていただかねばならない」としみじみ思わさせていただきます。

春分の日の春季霊祭には、全員お引寄せを蒙られて、共々に麗しい私ども

のご先祖のみ祭を奉仕させていただきます、霊様と私ども子孫が一体となって楽しい一日を過ごさせていただきますと思ひます。



昭和59年10月 甘木親教会布教80年記念大祭
参拝時のスナップ写真

甘木親教会 布教記念祭奉祝 バレーボール大会 5/4 (祝)

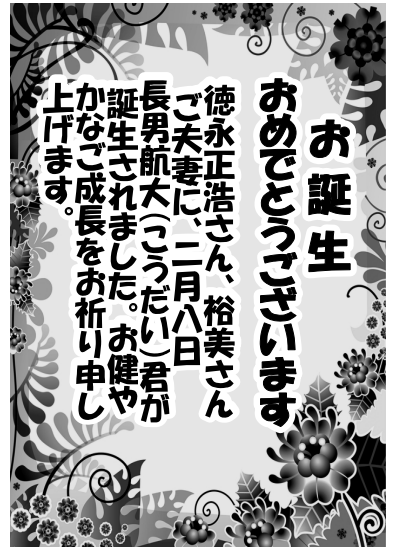
(9人制、体育館にて)

に参加しませんか?! 今年も参加のお誘いがあります、みなさんいかがですか?



人吉教会・宮之城教会・多良木教会・免田教会
合同の南九州連合チームにて!

バレーボールができない方も、応援部隊で参加してみませんか?



訃報

加治木町の大山純子さんの叔母、大山
テルさんが、二月十二日、満九十六歳に
てお国替えされました。
霊様のご安心とお道立てをお祈り申
上げます。

あしあと

加治木教会行事記録

- 2月
- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
 - 4 (水) 甘木親教会初代立日御祈念10時
 - 8 (日) 宮之城教会松井茂喜大人一年祭 11時
 - 9 (月) 斎掃御用 10時半
 - 10 (火) ●^{生神光}大神様 月例祭10時半
 - 12 (木) 矢野政美大人立日御祈念 10時
 - 15 (日) 上荒田教会 報徳祭 11時
 - ” 多良木教会 報徳祭 11時
 - 17 (火) 甘木親教会報徳祭 11時
 - 18 (水) 甘木親教会「同釜会」
 - 19 (木) 若婦人会 13時半
 - 21 (土) 御用奉仕
 - 22 (日) ●加治木教会 報徳祭11時
 - 25 (水) 26 (木) センター御用(文)
 - 28 (土) 斎掃御用 10時半

ご霊神様のおまじ

三月 (敬称等略)

- 川畑ツネ 之霊神(1日)昭和44年
- 中野サ子 之霊神(1日)平成13年
- 永原スミ子 之霊神(1日)平成20年
- 内村源二 之霊神(3日)平成5年
- 信國幾雄 之霊神(6日)昭和42年
- 大山定二 之霊神(7日)昭和61年
- 荒木美至 之霊神(7日)平成7年
- 本中野重則 之霊神(12日)平成年
- 矢野クラ 之霊神(13日)昭和31年
- 松田モト 之霊神(15日)昭和62年
- 信國徹志 之霊神(18日)昭和52年
- 松田セイ 之霊神(20日)昭和18年
- 前田広実 之霊神(21日)昭和36年
- 吉屋茂樹 之霊神(25日)平成4年
- 津上陸奥 之霊神(29日)昭和53年
- 本中野金四郎 之霊神(30日)昭和4年
- 柳園ヨシ 之霊神 平成25年

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

三月七日(土)・八日(日)

午後二時より 午前十時より

※七日は主に初心者

申込締切 三月一日

典楽会

鹿兒島教会にて 会費:昼食費など一五〇〇円

琴・龍笛・笙・箏・太鼓

三月二十一日(祝)

春季霊祭 奉仕

※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

四月四日(土)・五日(日)

天地金乃神様

御本部御大祭 参拝

出 発: 四日午前八時

帰 着: 五日午後十二時頃

交通機関: レンタカー

宿泊先: 霊地「光風館」

四月一日(水)

月例祭に併せて

勸学祭 奉仕

健康な成長と学業成就の御礼と

お願いを申し上げます。

三月 日() 日() ...未定

甘木親教会

少年少女会 交歓会

対象: 新中一〜新高卒

教会行事

3月

1 (日) ●報徳月例祭 10時半

4 (水) 連合会 青年部S B交流会

5 (木) 野口家一年祭

7 (土) 8 (日) 典楽講習会 鹿兒島教会

9 (月) 斎掃御用 10時

10 (火) ●月例祭 10時半

11 (水) 連合会 青年部企画会議 19時 鹿兒島教会

12 (木) 若婦人会 13時半

13 (金) 矢野クラ刀自立日 御折念 10時

20 (金) 斎掃御用 10時

21 (祝) ●春季霊祭 10時半

22 (日) ●月例祭・共励会 13時半 甘木親教会

26 (木) 安武孝子姫四十年祭 甘木親教会

27 (金) 29 (日)

甘木親教会「教会子弟の集い」

28 (土) 新田原教会布教50年記念大祭

31 (火) 斎掃御用 10時

《未定行事》甘木親教会 少年少女会「交歓会」

青年会

4月

1 (水) ●月例祭(報徳) 10時半

//併せて◆勸学祭(少年少女会)

4 (土) 5 (日)

御本部御大祭参拝

9 (金) 斎掃御用 10時

10 (土) ●月例祭(生神金光 大神様) 10時半

11 (土) 12 (日)

◆甘木親教会 青年の集い

15 (水) 連合会 執行部会

19 (日) 大口教会御大祭

21 (火) 斎掃御用 10時

22 (水) ●月例祭・共励会 13時半

25 (土) 甘木親教会 御大祭 第①日

26 (日) 甘木親教会 御大祭 第②日

30 (木) 斎掃御用

《未定行事》多良木教会・人吉教会 御大祭

5月

4 (祝) 甘木親教会バレーボール大会参加

31 (日) 加治木教会御大祭